

と思うのです。

余談ですが、私は音楽が好きでいろんな音楽を聞いて心を動かされることが多いのですが君が代という曲はあまり好きじゃないです。

◇メール有難うございました。するどい指摘です。私も不安に思っています。大岡先生を思い出されるとは光栄です。私も尊敬している作家です。今後もメール交流しましょう。(勉)

◆小栗さん

小栗と申します。昭和33年生まれの兼業農家です。
いつも楽しく読んでいます。休日出勤のためはじめて

1999/09/23 07:10:00 頃の, mag2 様の

"『電子耕』No.13-1999.09.23号"についてですが・・・

<http://nazuna.com/tom/1999/13-19990923.html>

返事を書きます。

私は陣強さんと同じく「日の丸・君が代法案」については原田さんの意見とは違った考えを持っています。

(私のおじは20才前に出征し、ガダルカナルで戦死しました。

遺骨も帰ってきていません。お墓はあります。

NHKで放送したドキュメント太平洋戦争などを見て、なんて昔の日本軍はおろかなことをしてしまったのだろうと本当に悔しく思います。)

原田さんは君が代と聞いただけで戦争のにおいがすると言っていますが、それは考え過ぎだと思います。

(戦争についてですが誰もやりたくないのは当たり前のことだと思いますがもし、他の国が何らかの事情で攻めてきたら戦わざるを得ないと思います。)

閣僚の靖国参拝にしても戦争でなくなった人の対する慰霊の為だと思いますので当然のことだと思います。

終戦記念日でむしろしないほうがおかしいのではと思います。

軍閥の指導者やA級戦争犯罪人が一緒に祭られているからと言っていられますが、別々にできますか？

彼らも日本のことを考えて行った結果でそうなったのだと思います。

ちなみに私の父母は原田さんのように苦々しく思うようなことは一度も言ったことがないです。

原田さんのは農業分化マガジンと書いてありながら、自分個人の考えの押し付けだと思いました。

◇コメントはこの項の最後に。

◆アンドレさん

1974年生まれの、大学生です。

ETV特集を見て購読を始めました。

今回のメールは、

13号の記事を読んでの意見です。

<http://nazuna.com/tom/1999/13-19990923.html>

mag2 wrote:

> 今年の8・15戦没者慰霊の日に戦後はじめて国歌「君が代」が斉唱され
> た。

> 聞いていて参列の遺族や国民はどんな思いだっただろう。

あの式典の国家斉唱に関して、私をもっと気になった点は、総理以下参列者席の人間も、多少の差はあっても口を動かしていた、つまり、斉唱に参加していたのに、天皇夫妻は口を微動だにしていなかったという事です。

第一条で、「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴」であると定め、主権が国民にあると明確にうたっている日本国憲法は、

第14条で、

「すべての国民は、法の下に平等であって、社会的身分により、社会的関係において、差別されない。」

としているのにです。

国家を歌う側と歌われる側に分けるという、社会的関係における差別が、やはり君が代に内在していることを今回の式典では、強烈に見せつけられました。

そこにあったのは、臣民が天皇に向かって歌うという構図そのものだったのです。

口惜しいのは、日本にとって危険であるばかりでなく、アジアに対して失礼極まりない今回の施策が、ほかの誰でもなく、日本国民が決めた、国会議員の圧倒的多数で決められたことです。

今の選挙は、古い農民の近視眼的な建前に、票の重さを偏らせた、選挙であることには違いありません。都市部の間人は、農民と争う気力もありません。しかし、国会は、やはり国民の選挙で決められているのです。

君が代を国歌とした件に関して、国民一人一人には等しく責任があるのです。

私は、何もすることができないのに、重い責任だけを押つけられるのが悔しいのです。

◇ <編集人からひとこと>

<キーワード>にあるようにこのマガジンはお互いのメールの交換を一つの目的としています。従って今回のたまみさん、小栗さん、アンドレさんのように、いろいろな自主的意見があってもよいと思います。

メールの中には原田個人の<舌耕のネタ>に異なる意見があるとあって質問、あるいは詰問もあります。それはそれでも良いのですが、自分の意見は述べないで、「これは掲載しないで」という人がいます。これでは声の交流にはなりません。お互いネチケットを参考にしましょう。

(高橋 邦夫さんのネットワーク・エチケット)

<http://www.togane-ghs.togane.chiba.jp/netiquette/>

<舌耕のネタ>は作者であり編集者としての考えで述べていますので、どなたにも同じ感想を期待してはおりません。また個人の考えの押しつけだと思われる方もあるでしょうが、個性のないマガジンは発行する意味がありません。

普通の新聞や雑誌でもそれぞれ個性があります。『電子耕』は発刊のことばにもあるように「第1に私の考えとキーワードにある情報を広めるためです」

といい、今までいろいろな媒体にたずさわった50年の経験を次の世代に伝えたいと思って続けています。

すでに14号になります。おおよその考えはこれまでもお送りしています。ただ、政治家や政党のように〇〇反対とか△△賛成というようなストレートな表現はしていません。

戦争や日の丸・君が代についても、13号の金鵒勲章ものがたりのように、「鉛の勲章」という表現でわたしの考えをのべています。ぜひそこまで読み込んで頂きたいと思います。これは押しつけではありません、お願いします。

プレゼントのお礼に添えられたご意見に、一言ずつのコメントで失礼します。

◆猫太郎さんから：

藍染のテーブルクロスありがとうございました。

私は藍の色合いがとっても好きです。早速一番お気に入りの花瓶の下に、置かせていただきました。

大切に使用させていただきます。

この度は、あらゆる事が始めての事ばかりです。メールを始めたのも、応募をしたのも、当選したのも、みんな始めてです。

私（は今）54才。原田さんから、テーブルクロスと、まだまだやれば出来るんだという自信、これからの人生捨てたもんじゃないという幸せを、いただきました。本当にありがとうございました。

我が家の庭に、今 八重の酔芙蓉が咲いています。

色の移り変わる瞬間に立ち会いたいと思いつつ、

なかなか、その機会に、恵まれません。

気がつけば、色が変わっているという・・・・・・・・

毎回のマガジン楽しみにしています。

◇これからの人生80歳を目標に元気でゆっくり楽しみましょう。

◆ s a k i さんから :

「評伝 岩渕直助」

<http://nazuna.com/tom/profile.html#1>

を送っていただき、大変嬉しく思います。

9月29日に届きまして、早速読まさせていただきました。

大変立派なご本でびっくりしましたが、私にとってデジタルの向こう側だった原田さんを近しく感じました。

私には、岩渕氏も農文協も接点がないのですが、客観的に読んで、岩渕氏の人生から見た農文協は、まるで朝の連ドラのようにドラマスティックに思えました。この評伝をベースにシナリオを書いてNHKで放映すれば、中高年の男性に受けるドラマとして視聴率が稼げることでしょう。すみません。失礼致しました。

それほどの御苦勞を、私は文章を経て知ることができました。

今まで「電子耕」にはよく出てきたけれど、私には謎の団体だった農文協についても知ることができました。

これからの私の将来、知識として参照させていただきます。

原田さんの丸みのある、整えられた解りやすい文章は、無教養な私もなんとか理解することができました。

ありがとうございました。

それにしても、原田さんは、いえ、ご本をお出しになられていらっしゃるのですから原田先生、ですね。

原田先生は、警察から逮捕状を出された御経験がられるのですね。意外でした。

どう考えても将来、地球人口に対して食料はますます不足していくことでしょう。

真の意味で「食料を作る」大切さを思い知らせるいいチャンスかもしれません。現在はあまりにも食べ物を作る価値が低すぎます。せめて、農業が、食料を生産すれば安定した生活がおくれるような、まるで公務員のような地位になればいいと考えています。

私は佐賀の兼業農家の娘ですから、ついこんな考えになってしまうのでしょうね。他人のことを考えない、勝手な妄想です。

本当に、これから先の地球は、日本は、どうなってしまうのでしょうか。

ところで、原田先生は「日の丸・君が代」について、あまりよいイメージを持たれていらっしゃるのですか？

私は、戦争と言う過去を持たない人間ですので、日の丸も君が代も、空気のような存在というか、どちらかといえば好きなのです。

日の丸は、世界中の国旗の中でもトップクラスの、洗練された良いデザインで、カッコイイと思います。だから好きです。

君が代は、天皇の歌だということは解っています。しかし、現在の天皇のような「外交の専門家」は日本にとって必要ですし、とても温和でいらっしゃるし、この「君が代」は千代に八千代に続いてもいいと思っています。だから好きです。

こういった物の考え方は、先人に対して失礼でしょうか？

長々と稚拙な文章で申し訳ありませんでした。

プレゼント、ありがとうございました。

これからも「電子耕」が楽しみです。

がんばってください。

◇逮捕状など忘れていたので、ドキッとしました。またの機会に。

-----意外に好評だったので特別割引販売のお知らせを作ってみました-----

◎『評伝 岩淵直助--農文協の五十年史--』原田勉著 農文協 1995年刊

A5判 284頁 ISBN4-540-94178-X

<http://nazuna.com/tom/profile.html#1>

本体価格 2,913 円を 2 割引の 2330 円+115 円（税）

=2445 円（+送料 400 円）計 2845 円 で、お分けします。

ご希望の方には署名もいれます。

お問い合わせは tom@nazuna.com まで。

◆柴田さんから：

雲南の絞り藍染めのプレゼントありがとうございました。

封を開けたとたんに、本物の藍独特の香りが漂って来ました。

さっそく、妻にプレゼントさせていただきました。

妻によれば、これまでに藍染めをしたことはあるが、それは手軽なインド藍の粉末によるもので、本物の藍（発酵させた藍のことを草かんむりに染めるといふ文字で「すくも」というそうです）で染めたことはないという。

妻は、岐阜県恵那郡岩村町の「志とり工房」を主宰している川渕和彦、恵子先生の指導を受けて、織りと染めを習っています。さっそくそこへ持って行って皆さんに見てもらおう、と言っておりました。

こうした手造りの品は、大量生産のものにはない素朴な味わいがありますね。また、これが中国の民の手によって造られたということにも感慨がわきます。

今年の3月、廬溝橋や万里の長城を訪ねたおり、道端で観光客を相手に焼き芋を売る陽に焼けた老婦の顔を思い出しました。

私たちの旅行に、通訳として同行してくれた日本語を学んでいる北京の学生たちの献身的な態度と、ほんの一時ではあれ、中国の民に接して、中国人民に親しみを感じました。

「雲南に行ってみたくなくなったね」とは妻の弁です。

これからも「電子耕」楽しみにしています。（柴田敏之）

◇家内の友人が奥飛騨で藍を栽培し、藍染をしています。ご縁あり。

◆ケンゴーズさんから：

連絡するのが遅れましたが、読者プレゼント当選の品が届きました。ありがとうございます。

藍の匂いをかぎながら雲南の風景を思い浮かべています。

今、テレビでは東海村の事故の事を報じています。

藍の匂いをかぎながら、原発とこの匂いが相容れないものだと強く思います。

もう、ずっと以前に結論は出ています。

原子力発電は反自然・反生命な動力です。もう、いやです。

私達はただ「反対」と声だかに叫ぶだけでなく、自分達の生活を見直し
小さな生活（手間と愛情をかける暮らし）を目指す必要があると思います。
私のとても大切な友人達が事故現場のすぐ側で暮らしています。
本当に心配です。

◇原発事故はまだおこるようで不安です。長崎の友を思い出す。

◆ひろさんから：

雲南の絞り藍染 ありがとうございます。
本当に 美しい 藍色です。
藍は こんな においなんですね。
大切に 使わせていただきます。

中国は 広いですね。
パンフレットも ありがとうございます。

またそのうち メールを 差し上げられたらと 思っています。
今日から 10月。
日本の秋は とっても 素晴らしい季節。
どうぞ 健康に気を付けて。
ますますの 電子耕の メールマガジンを 楽しみに 待っています。

10月1日 快晴 明石より

◇雲南の空も青く、空気も水も綺麗なところ、大理石の故郷でした。

◆知子さんから：

先日は、絞り藍染めのテーブルクロスとパンフレットをお送り下さい
まして、どうもありがとうございました。

テーブルクロス、花とちょうちよの柄でとても素敵です。しばらく手に取っ
て見入ってしまいました。そして、私が二十歳頃の時、藍染めに興味があつて、

徳島を旅行した時、藍染め工場で染め物の体験をした時の事を思い出しました。
そのときの作品を出してみました。

色合いは少し違うけど、どちらもきれいな藍色でした。

私は、染物に興味があり、ハーブなどを使った草木染を時々楽しんで います。
す。

14号の「ナシとエビの炒めもの」は以外でした。今が旬のナシを使っ て、
ぜひ作ってみたいと思います。

◇藍染経験者が二人もあって嬉しくなりました。機会があったら又。

目 次

<舌耕のネタ> ビールのつまみに豆腐・醤油も安心できない。

<農業・図書情報> 特集・誰にもわかる遺伝子組み換え食品・入門 (1)

< トピック > 3

<秋の健康食> ◎10月のしゅんの野菜

(15) カリフラワーとトリのささみ炒め

<舌耕のネタ> 「見えない恐怖」が東海村を中心に30万人を襲いました。
詳しくは新聞・テレビの報ずるとおりでしょう。ところがここにも「見えない
恐怖」が私たちの食生活を脅かしています。

◎ ビールのつまみに豆腐・醤油も安心できない。

スウェーデンの友人

<http://user.tninet.se/~zvx299r/>

によると「最近スウェーデン国内でいくつかの醤油が販売禁止になりました。
遺伝子組み換え (GM) の大豆で作った醤油から発ガン物質が検出されたため
販売禁止となったとのこと。日本でも同じような措置がとられているのでし
ょうか。」と言う。

「日経ECO21」

<http://eco21.nikkeihome.co.jp/>

という環境マガジンに「国産大豆使用」の豆腐から遺伝子組み換え体 (GMO)

を検出！とありました。

編集部が豆腐3品をアメリカの検査機関に分析を頼んだ結果、全部から微量の遺伝子組み換え体（GMO）が検出された。国産大豆の表示は半分以上国産を使っていれば日本豆腐協会では国産大豆の表示をしていたそうです。国産大豆は3%しか無いのだからGM大豆が混入していた可能性はあるわけです。

9月25日の日本経済新聞に「ビール業界がビールの副原料に使っているトウモロコシを遺伝子組み換えをしていないものに全面的に切り替えることを決めた」ということは。いままで副原料の「コーンスターチ」を米国などから輸入していたことを物語る。

あなたが今吞んでいるビールも肴としている豆腐・醤油もすでに遺伝子組み換えの大豆やトウモロコシが使われているということです。

コーンスターチはそのほか、かまぼこなどのつなぎ材料としても使われています。

わが家で毎日食べている納豆はどうだろう。パックを見ると特小粒の国産大豆納豆とある。生協だから大丈夫だろうと山崎農業研究所の会員の野菜園芸専門家に聞くと、「小粒大豆はアメリカ産ではないが、国産はあやしい。生協でも開発輸入の原料を使っているからね」という。

まえには食品Y加剤で大騒ぎをしたが、こんどは遺伝子組み換え食品の危険が大問題になっている。わたしも素人だがとにかくどんな危険があるのか、専門家の意見を聞きながら入門編を何回か続けてみよう。

<農業情報> 特集・誰にもわかる遺伝子組み換え食品・入門（1）

<トピック>

1、遺伝子組み換えトウモロコシの花粉で益虫も死ぬ

今では世界中で有名な話だが、5月20日付けの科学雑誌『ネイチャー』
<http://www.naturejpn.com/newnature/>
にアメリカコーネル大学の研究グループが害虫に強いBt毒素遺伝子組み換えトウモロコシの実験で発表したものです。

このトウモロコシは害虫だけに影響があり、他の益虫には害がないものだ

宣伝されていたのですが、このトウモロコシの花粉のついた植物の葉をチョウの幼虫が食べると44%が死んだという論文です。

この実験は遺伝子組み換えトウモロコシの栽培が環境にも悪い影響を及ぼすと、欧州連合（EU）委員会

<http://europa.eu.int/index-en.htm>

ではこのトウモロコシの認可を凍結しました。

ところが、この実験をめぐって論議がおこっています。これについては次号で紹介しましょう。お急ぎの方は月刊『世界』1999年10月号

<http://www.iwanami.co.jp/sekai/>

の「遺伝子組み換え食品」渡辺雄二氏の論文をご覧下さるようにおすすめします。

2、EUが昨年9月遺伝子組み換え食品の表示を義務づけた背景

昨年の8月イギリスのローウェット研究所のプスタイ教授がテレビで遺伝子組み換えジャガイモは健康障害をを起こすというラットの実験結果を明らかにしました。それが安全性の論争に火をつけました。

イギリスではチャールズ皇太子まで「遺伝子組み換え食品の安全性は本当に確保されているのか」と新聞『デーリー・メール』に懸念を表明した。イギリスの食品業界ではGM食品を排除する動きが高まっているという。

3、日本は遺伝子組み換え作物の最大輸入国、それが・・・

まへの14号でも書きましたが日本は穀物輸入量で世界一で、ダイズは国内需要量520万トンのうちアメリカからの輸入が390万トンと全体の75%を占め、その27%（105万トン）が遺伝子組み換えです。

トウモロコシは87%をアメリカから輸入しています。

厚生省は現在まで遺伝子組み換え農産物が人体に悪影響を与えるという科学的な証明はないということで96年から輸入を認可しています。

今でもダイズを原料とする醤油・みそ・豆腐・なっとうなどの製品に混入されているわけです。

それで消費者団体は「遺伝子組み換え食品いらない！」などのキャンペーンを張って、農林水産省に対して「使用した場合は明確に表示して欲しい」とい

う要望をしました。これを受けて農林水産省は、輸入業者や食品メーカーに30品目について2001年から表示義務付けの方針を打ち出しました。

しかし、みそ・醤油などでは遺伝子組み換えダイズを使っているか、その検出が難しいと言われ、消費者団体は原料段階からの表示を義務づけることが必要と要求しています。

◎基礎知識参考サイト

東京都立衛生研究所 食品衛生の窓から【組換えDNA技術応用食品について】
<http://www.tokyo-eiken.go.jp/shokuhin/topics/identshi/identshi.html>

<次の16・17号に専門家の連載記事・大山勝夫博士担当>-----

元農林水産省・農業生物資源研究所 放射線育種場長 農学博士、
現在 東京生命科学学園 講師。山崎農業研究所会員。(おおやま・かつお)
『農政と共済』誌の許可を得て転載します。
その1、遺伝子組み換え食品の安全性と不安
その2、GM食品の流通実態と自給率

<秋の健康食> 10月のしゅんの野菜

◎食用菊、ダイコン、シメジ、ナメコ、ニンジン、タマネギ、キャベツ、
サツマイモ、ジャガイモ、

○カブ、ゴボウ、レンコン、ハクサイ、コマツナ、ネギ、カリフラワ、サト、
イモ、ナガイモ、ヤマトイモ、カイワレダイコン、生シイタケ、マツタケ
ギンナン、

(15) カリフラワーとトリのささみ炒め

効 用：

本格的な秋野菜のシーズンになりました。きょうはカリフラワーを主にして、
生シイタケ、ニンジン、ピーマンと、タンパク質が多く消化の良いトリのささ

みを炒めてみました。

ビタミンA、B1、B2、C、とみんなふくんでいます。とくに強調したいのは、カリフラワーやニンジンなど、野菜の食物せんいです。せんいの多い食べ物は便通をよくし、発ガン物質を早く体の外に排泄してくれます。ビタミンCも抗ガン作用があるという研究もあります。

作り方：

- 1、カリフラワーは塩と酢少々で、固めにゆで、食べよい大きさに切る。
 - 2、ささみは小さくそぎ、ショウガ汁、酒をふりかける。
 - 3、シイタケ、ニンジンは短冊切り、ピーマンはひとくち大に切る。
 - 4、中華なべに油を熱し、ニンジン、シイタケを炒め、次にカリフラワー、ピーマン、ささみを加えて炒め、塩味に仕上げる。
 - 5、最後に片栗粉を水に溶いて加える。
- ◇ブロッコリーを用いてもよい。

第16号予告 特集・誰にもわかる遺伝子組み換え食品・入門（2）

その1 遺伝子組み換え食品の安全性と不安 大山勝夫

■■■■■ （社）日本劇団協議会主催 創作劇奨励公演 劇団文化座制作
■■■■□ 平成九年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞 受賞作
■■□□ 世紀末の田端にこだまする幕末青春鬱屈伝 新しい時よ来たれ！
■□□□ ◇◇◇「祭りはまだか」◇◇◇
□□□□ 鳥海 二郎 作 佐々木 雄二 演出
□□□□ 1999年12月10日～19日 東京・田端・文化座アトリエにて
□□□□ <http://bunkaza.com/>

■山崎農研発行の書籍のご案内

http://www.taiyo-c.co.jp/yamazaki/yama_books.htm

<「電子耕」原稿・投稿募集>

- このメルマガは読者の意見交換を一つの目的にしています。
「キーワード」の趣旨にそった投稿を募集しています。
- 字数は一人1回500字から1000字くらい。メールで

止されている（他のパソコンで文字化けの可能性大なため）とのことなのでご
注意ください。

詳しくはHATさんの「インターネットメールの注意点」

<http://www02.so-net.ne.jp/~hat/imap/cover.html>

をお読みください。

■バックナンバーは、

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

のなかの「★バックナンバー」のそれぞれの号番号をクリックすると
読めます。

『電子耕』は、2つのルートで配送しております。

『まぐまぐ(ID=14872)』

<http://www.mag2.com/>

『Macky !』

<http://macky.nifty.ne.jp/>

SPECIAL THANKS to INTERNET JAH

<http://www.jah.ne.jp/>

週刊「74歳が送る農業文化マガジン『電子耕』」 第15号

--農業・健康・食・図書・人物情報--

バックナンバー・購読申し込み/解除案内

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

1999.10.07（木）発行

東京・ひばりヶ丘 原田 勉

<mailto:tom@nazuna.com>

*****発行部数 1328+43 部*****